学校番号	102

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　現代文B」（第一学習社）						
副教材等	「共通テスト対策　現代文完答 20」(尚文出版) 「大学入試共通テスト実戦演習　論理・文学編」(数研出版) 「読解評論文キーワード」(筑摩書房)・「生きる 漢字・語彙力」(駿台文庫)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・進路実現に向けて第2学年までに習得した読解力（読解技術）を意識的に活用し、更に得点力（問題を解く力）の習得にも力を注ぐ。
・大学入試問題等に頻出のシチュエーション、出題のパターン、解答するうえでの約束事などを身に付けて、今まで学習したことを大学入学試験等で最大の結果を出すことにつなげる。
・読解においては選択式課題で考えることよりも、記述問題として解答を作成することに力を注ぐ。ただし、大学入学試験等の動向を見据え、選択式問題の解法も随時指導する。
・一年間の学習を通じて、学習の到達段階を「自己把握」しながら「既習事項」の自己検証・反復学習を行い、「発展的問題演習」を行うこと。また、日々の学習時間を適正に配分することが肝要である。

2　学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める。また、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。論理的な文章では、文章を読んで、構成・展開・要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価する姿勢を深める。文学的な文章では、文章を読んで、書き手の意図や、人物・情景・心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう姿勢を深める。語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、言葉による認識の可能性を広げて思考を深めて感受性を豊かにする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察・記述の点検（ノート、課題演習プリント等）	行動の観察（発表等の発問に対する発言等）	記述の確認及び分析（授業ワークシート、課題演習プリント、小テスト等）	記述の確認及び分析（授業ワークシート、課題演習プリント） 定期テスト	課題小テスト 課題演習プリント 定期テスト 発問に対す解答評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	論理的文章の読解と理解1	「現代の評論」 ＊実用的な文章も含む 評論のしるべ ① 「日本語・日本人・日本文化」 評論のしるべ ② 「場所と文化」	○	○	◎	◎	○	a：文章を的確に読み取ろうとする。複数の情報を関連づける視点を持つ。 b：読解内容や内容説明の表現について自己評価・相互評価を行う。 c：論旨を正確に読み取り、要旨を簡潔にまとめて、矛盾がない。 d：具体的表現と抽象的表現とを読み取り、テーマを理解する。 e：わかりにくい言葉や重要語句の意味を辞書等で確認する。	a,b,c,d,e 行動の観察 ・記述の点検 c,d,e, 課題小テスト・定期考査
	文学的文章の読解と理解1	「近代・現代の小説」 文学のしるべ ① 「山月記以外の中島敦に出会う」 文学のしるべ ② 「漱石と恋愛」 文学のしるべ ③ 「言葉と演技性」	○	○	◎	◎	○	a：主観的な読み取りではなく、表現に着目する姿勢を持つ。 b：読解内容や内容説明の表現について自己評価・相互評価を行う。 c：会話や文脈から登場人物の心理を的確に把握する。 d：複数のテキスト・場面設定・人物設定から出来事の筋道を読み取る。 e：わかりにくい言葉や重要語句の意味を辞書等で確認する。	a,b,c,d,e 行動の観察 ・記述の点検 c,d,e, 課題小テスト・定期考査
二学期	論理的文章の読解と理解2	「現代の評論」 ＊実用的な文章も含む 評論のしるべ ③ 「人間と社会」 評論のしるべ ④ 「科学・科学論」 評論のしるべ ⑤ 「グローバルとローカル」	○	○	◎	◎	○	a：文章を的確に読み取ろうとする。複数の情報を関連づける視点を持つ。 b：読解内容や内容説明の表現について自己評価・相互評価を行う。 c：論旨を正確に読み取り、要旨を簡潔にまとめて、矛盾がない。 d：具体的表現と抽象的表現とを読み取り、テーマを理解する。 e：わかりにくい言葉や重要語句の意味を辞書等で確認する。	a,b,c,d,e 行動の観察 ・記述の点検 c,d,e, 課題小テスト・定期考査
	文学的文章の読解と理解2	「近代・現代の小説」 文学のしるべ ④ 「湯ヶ島で生まれた文学者たちとの交流」 文学のしるべ ⑤ 「複数の顔を生きる」 文学のしるべ ⑥ 「芥川龍之介の死」	○	○	◎	◎	○	a：主観的な読み取りではなく、表現に着目する姿勢を持つ。 b：読解内容や内容説明の表現について自己評価・相互評価を行う。 c：会話や文脈から登場人物の心理を的確に把握する。 d：複数のテキスト・場面設定・人物設定から出来事の筋道を読み取る。 e：わかりにくい言葉や重要語句の意味を辞書等で確認する。	a,b,c,d,e 行動の観察 ・記述の点検 c,d,e, 課題小テスト・定期考査

三学期	応用的な文章の読解と理解	応用的な評論・小説 ＊ブックガイド ＊評論キーワード ＊評論キーパーソン	○	／	○	○	○	ａ：言語を手掛かりとしながら、文章から得られた情報を多面的・多角的な視点から解釈する。 ｃ：テーマから課題を発見し発展させる。 ｄ：テキストの読解を通じて思考力・判断力・表現力を涵養する。 ｅ：応用的な語彙力を深め、言語文化の基礎の上に使いこなす語彙の数を増やす。	a,c,d,e 行動の観察・記述の点検 c,d,e 課題小テスト等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について◎を付けている。

①論理 A「安心社会から信頼社会へ」　文学 A「紀ノ川」
①論理 B「ケインズとハイエク」　文学 B「パートタイム・パートナー」
①論理 1 「まなざしのなかの自己」　文学 1「心に残る秀句／青春と成熟―鑑賞・森澄雄の風景」
①論理 2「絵と絵を超えるもの／美の近代」　文学 2「光秀と紹巴」
①論理 3「コミュニティを問いなおす」　文学 3「東京モノレール／夢の碑」
①論理 4「近代デザインの展開」　文学 4「馬と暴動／空隙／散文は異常なものである」
①論理 5「考えあう技術」(対談／文章)　文学 5「カナダ通り」
①論理 6「他者の存在を想い出すこと」　文学 6「無名作家の日記」
①論理 7「環境基本法／森の思想が人類を救う／21 世紀環の国づくり会議」報告書　文学 7「最初の秋」
①論理 8「椅子と日本人のからだ／メディアと芸術」　文学 8「伊良子清白　月光抄／破船のゆくえ」
②論理 1「路地がまちの記憶をつなぐ」　文学 1「ツバメたち」
②論理 2「著作権２．０」　文学 2「紙／永遠の百合」
②論理 3「うしろめたさの人類学／熱帯の贈与論」　文学 3「杏っ子」
②論理 4「生命の内と外」　文学 4「きみは、もう若くない」
②論理 5「住居空間の心身論」　文学 5　夏の影」
②論理 6「リスク化される身体／知識の委譲とリスク社会」　文学 6「白鳥」
②論理 7「樹の鏡、草原の鏡／日本の音」　文学 7「筧の話／変な音」
②論理 8「キャッシュレス決済」　文学 8「赤蛙」
②論理 9「「安くておいしい国」の限界」　文学 9「子規からの手紙／病牀六尺」
②論理 10「ポケモンの神話学」　文学 10「鶯／火をめぐらす鳥」